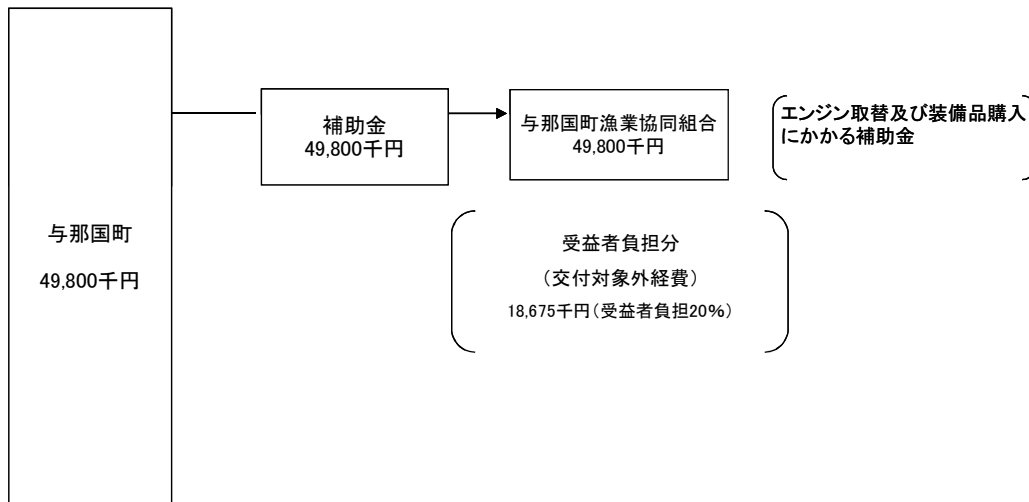


市町村名		与那国町					
令和3年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	与那国町漁業担い手育成プラン実施事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-エ	
担当部署名	産業振興課 農林水産班	事業実施(予定)年度	平成26~令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	農林漁業の担い手の育成・確保及び経営安定対策等の強化 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	与那国町の漁業事業者団体による漁業設備の貸付けに対して支援を行い、漁業従事者の維持確保を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度( 年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R3年度(繰越)	
		(a)当初予算額	46,250	36,000	32,000	54,500	0
	(b)予算現額	46,250	45,956	32,000	54,500	0	
	(c)増減額(b-a)	0	9,956	0	0	0	
	(d)繰越額	0	0	0	0	29,318	
	A.計(b+d)	46,250	45,956	32,000	54,500	29,318	
	B.執行済額	38,844	37,387	24,455	25,182	24,618	
	うち交付金充当額	31,075	29,909	19,564	20,146	19,695	
	次年度繰越額	0	0	0	29,318	0	
	執行率(%) (B/A)	84.0%	81.4%	76.4%	46.2%	84.0%	
予算の状況の説明	当初計画していた4名のエンジン及び装備品について新型コロナウイルス感染症の影響により資材等の搬入の遅れが影響し、2名については機材導入に不測の日数を要した為次年度へ繰越しを行い事業を完了した。不用額4,700千円については導入残額であるが、活動目的、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考える。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
	漁業従事者団体が、操業に必要な漁船等を新規・既存漁業者に貸付けられる場合の購入に対し支援の実施	目標	漁船の購入及び貸付けの実施	漁船の購入及び貸付けの実施	漁船の購入及び貸付けの実施	漁船の購入及び貸付けの実施	
		実績	漁船の購入及び貸付けの実施	漁船の購入及び貸付けの実施	漁船の購入及び貸付けの実施	漁船の購入及び貸付けの実施	
		目標					
		実績					
達成状況説明	漁業従事団体が貸付けられるための船舶、エンジン及び装備品の購入に対し補助を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(H25年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	既存漁業従事者数の維持確保 40人以上	目標	( 32人 )	( 34人 )	( 37人 )	( 38人 )	( 40人 )
		実績		35人	39人	39人	
	【参考指標】 漁業経営の安定確保	目標	( )	( 漁業経営の維持確保 )	( 漁業経営の維持確保 )	( 漁業経営の維持確保 )	( )
		実績		漁業経営の維持確保	漁業経営の維持確保	漁業経営の維持確保	
進捗状況説明	令和3年度は新規就業者増加は無く、事業総数は前年度と同数の39名となった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・令和3年度については、新型コロナウイルス流行による影響による移動の自粛等もあったものの目標である維持確保39人を達成することができた。</p>	<p>・沖縄地域漁業担い手確保事業を活用し、新たなIUターン者の確保を図り、更なる漁業従事者の維持確保を図るため漁協を中心としたPR活動を行う必要がある。 また、社会情勢等の影響を加味した上で計画を策定する必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・漁業従事者の維持確保を行うため、町広報誌等で与那国町で漁業に従事する事の魅力をPRする。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
68,475	49,800	39,841	9,959	18,675



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金の支出先については、漁業従事団体を対象としていることから、支出先として妥当であると考えられる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○見積等を徴収し、予算規模を決定しており妥当であったと考えている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担については事業費の20%負担しており、妥当であったと考えている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。

市町村名		与那国町											
令和3年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】													
事業番号・事業名	6-②	与那国町国境結節点化推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ウ							
担当部署名	企画財政課		事業実施(予定)年度	令和元年～令和5年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化 Ⅲ-9-(1)							
事業内容	与那国町の将来を創造するトリガーとして地域活性化を図るため、姉妹都市である花蓮市(台湾)と与那国町の間を結ぶ新たな高速船等の就航事業を「社会実験」として実施する。本事業では、社会実験を計画する上で必要となる、「社会実験計画書」、「国際船舶就航事業の実施手順(マニュアル)」の作成等を実施するとともに、CIQ等関係機関との事前協議を実施して、社会実験の確実な実施につなげる。												
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R5年度以降)												
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )												
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	R1年度		R2年度		R2年度(繰越)		R3年度		R3年度(繰越)			
		(a)当初予算額	5,314	40,040	0	15,400							
	(b)予算現額	5,269	40,040	0	15,400								
	(c)増減額(b-a)	-45	0	0	0								
	(d)繰越額			40,040	0	15,400							
	A.計(b+d)	5,269	40,040	40,040	15,400								
	B.執行済額	5,269	0	40,040	0	15,290							
	うち交付金充当額	4,215	0	0	0	10,296							
	次年度繰越額	0	40,040	0	15,400	0							
	執行率(%) (B/A)	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	99.3%							
予算の状況の説明	R3年度で事業の完了が見込めず繰越となったが、R4年度に適正に事業を実施し、完了した。												
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況										
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度							
	チャーター高速船(または超高速船)就航事業を「社会実験」として令和4年度実施するため、令和2年度で作成した「国際船舶就航事業の各種実施手順」を基に次年度以降の実証実験が円滑に進むための各種の手続き等に着手する。		目標	—	実施	実施	実施						
			実績	—	実施	実施	実施						
			目標										
		実績											
達成状況説明	高速船就航事業「社会実験」実施にあたり、コロナによる状況が影響し関係機関との調整が遅れたため、R4年度に繰り越して実施となったが、社会実験に向けた各種の手に着手することが出来た。												
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(5年度)						
	令和3年度 与那国町国境交流結節点化推進事業報告書(全体版)		目標	( )	( )	( )	( 実施 )	( )					
			実績	/			実施	/					
	令和3年度 与那国町国境交流結節点化推進事業報告書(概要版)		目標	( )	( )	( )	( 実施 )	( )					
			実績	/			実施	/					
	模擬手続き(手続サンプル集)		目標	( )	( )	( )	( 実施 )	( )					
			実績	/			実施	/					
	港湾区域等衛生管理調査実施計画書(案)		目標	( )	( )	( )	( 実施 )	( )					
			実績	/			実施	/					
	【令和5年度】 実証実験参加人数、日本側から一航海150人		目標	( )	( )	( )	( )	( 150人 )					
		実績	/				/						
進捗状況説明	船舶調達に係る現地調査も含め、社会実験に向けて必要となる手続き及び書類、事前検査業務等に関する調査業務は完了している。												

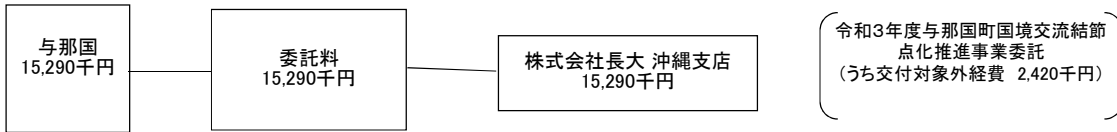
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	令和元年より「社会実験」の実施に向け必要となる各種業務として、本年度まで実施してきたが、当該事業により一区切りとなり次年度以降は、社会実験に向けた具体的な取り組みを実施する状況に至ることが出来た。しかしながら、検査に係る課題として、入国後の観光客に感染症を疑う症状が確認された際の、指定病院への搬送方法が未検討であるとの指摘があるため継続して取り組む必要がある。	令和5年度において、改めて社会実験に必要な費用を確保し、社会実験を実施することとなるが、将来の目標として臨時的な運行から、民間事業者による定期航路化を実現させるため、検査関連で指摘のあった防疫等の取組を確実に実行す。指摘への対処方法としては、本町を管轄する八重山保健所及び沖縄県との協議検討の場を設け、課題の明確化と対応具体案の検討を行う。

**今後の取り組み方針**

非検査港における、社会実験を実施するため必要となる各種手続きを速やかに実施し、令和5年度内で社会実験が実施できるよう取り組む。併せて、検査関係で継続課題となっている、感染患者の島外への搬送に関して、町だけでは対応できないため、国、県や関係機関との協議を進め、必要となる「防疫対策基本方針」の策定に取り組む。

**資金の流れ**

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		交付金	市町村	
15,290	12,870	10,296	2,574	2,420



資金の流れ、費目、用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○R3事業の委託内容は、R2事業の成果を発展させる内容であったため、R2事業で公募型プロポーザルで選定した事業者を随契約の相手方としており妥当であったと考えている。 ○不用額は発生しておらず適正な規模であった。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	